

2月23日：VN指数は急速に縮小 (VN-Index -1.25%)

- VN指数は不安定ながらも、何とか前日終値の水準を上回って本日の取引をスタートさせた。
- 前場は、銀行セクターが主な上昇のけん引役となった。
- これにより投資家心理は良好になり、後場の相場はやや持ち直した。しかし、幾度かの上昇を繰り返したのち、利益確定売りの圧力が急速に強まっていった。
- 不動産と建設・資材セクターを筆頭に、全てのセクターが下落に転じた。銀行セクターも最終的には小幅に下落した。
- 98銘柄が上昇、414銘柄が下落、45銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は78.7%増の32兆ドンとなった。

VN30指数は相場全体の重しに (VN-30 -1.36%)

- 大型株で構成されるVN30指数は、2銘柄が上昇し、27銘柄が下落、1銘柄が変わらずとなった。
- ビングループ銘柄が最も下落した。
- 一方で、BID (+4.52%) は唯一上昇の目立った銘柄だった。

セクター・個別株の動き

- VHC (+0.62%) は、2024年1月のIRニュースを発表。前年同期比102%の増収となった。これは、パンガシウス製品（前年比64%増）、副産物（同226%増）、その他（同142%増）の伸びによるものである。
- TNG (-1.90%) は2024年1月に個別決算を発表。売上高は5,238億ドン（前年同期比31.9%増）、純利益は148億ドン（同169%増）と、良好な結果だった。

- 外国人投資家は 7,660 億ドルの売り越しとなった。最も買い越された銘柄は DGG (-1.19%) と EVF (+4.00%) だった。一方、最も売り越された銘柄は VPB (-1.02%)、MWG (-2.87%)、VIX (-3.05%) だった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。